

パネル討論 新時代におけるマルチコア戦略

モデレータ：富田眞治（京都大学情報学研究科科長）

パネリスト：西直樹（NEC システム IP コア研究所 所長）
齋藤光男（東芝 セミコンダクター社 首席技監）
宗像義恵（インテル 事業開発本部 本部長）
井上愛一郎（富士通 次世代テクニカルコンピューティング開発本部 技師長）
佐貫俊幸（日本 IBM 開発製造 次世代コンピューティング・システムズ
ディステイングイッシュト・エンジニア）
福永泰（日立製作所 研究開発本部 技師長）

あらまし マルチコアという新時代において、学会・産業界が今後何をしなければならないか、また、国内間の競争に止まらず世界に対してどのような戦略が必要かといった議論を展開する。企業の方を中心にパネリストを選定し、深い技術論ではなく、マルチコアをどう使うかといった事や各社の今後の戦略を踏まえ、解決すべき課題や大学に期待する事(研究や教育)、マルチコアの将来像、などを議論する。これにより、オープン・プロブレムの共有を目指す。

キーワード マルチコア、チップマルチプロセッサ